

# 都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

南古谷駅周辺地区

令和4年11月

埼玉県川越市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	川越市	地区名	南古谷駅周辺地区			面積	66.3ha				
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	736百万円	国費率	47.4%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路((都)南古谷伊佐沼線、市道0039号線、南古谷駅南口駅前広場(市道4175号線)、南古谷駅北口駅前広場(市道0039号線))、地域生活基盤施設(南古谷駅南北連絡自由通路、駅前広場情報板)、高質空間形成施設(駅前広場公衆便所、駅前広場乗降者用シェルター、駅前広場歩道部カラー舗装)										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市道0039号線)、地域生活基盤施設(南古谷駅南北連絡自由通路、駅前広場情報板)、高質空間形成施設(駅前広場公衆便所、駅前広場乗降者用シェルター、駅前広場歩道部カラー舗装)			自由通路整備について鉄道事業者との協議が想定以上の期間を有したことなどにより、基幹事業の一部を削除した。			自由通路が指標3の達成に影響を与えるが、引続き、2期計画に向けて推進するため、指標、数値目標は据え置く。				
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	まちづくり活動推進事業【社会実験(南古谷まちなかサイクル)】			地区内での自転車シェアリングの有用性の効果等を測定しようとするものである。			指標2に影響を与えるが、他の要因で指標が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く。				
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内人口	人	6,309	H29	6,350	R4	6,389	○	あり なし	歩行空間の暫定整備、まちづくり通信や住民アンケート等を実施することで地域住民への関心及び期待度が高まったことにより、目標値を達成した。	-	
	指標2	鉄道・路線バスの利用者数	人/日	16,326	H27	16,400	R4	13,981	△	あり なし、○	新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、外出自粛などの行動制限により利用者数が減少したものと考えられる。	令和5年5月以降	
	指標3	アクセス時間の短縮	分	6	H29	2	R4	6	×	あり なし、○	南北連絡自由通路の整備が出来ず、目標達成には至らなかったが、令和3年度に鉄道事業者と基本設計協定を締結し、2期計画において整備を行う。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	川越市デマンド交通「かわまる」利用者数	人	-	H29	/	/	1,133	/	/	令和2年度より運行開始した川越市デマンド型交通「かわまる」は、生活の利便性の向上に寄与した。	-	
	その他の数値指標2	シェアサイクル利用者数	人	-	H29	/	/	6,678	/	/	移動の選択肢が増えたことにより、交通結節点機能として利便性の向上に寄与した。	-	
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>南古谷駅南北駅前広場用地の買収を行った土地において、歩行者通行機能を持たせたことにより、安全性の向上が図られた。また、事業用地内に自転車シェアリングのステーションを設置したことで、地域内外の回遊性や利便性が向上した。</li> <li>まちづくり通信の発行により、事業に対する機運が高まった。</li> <li>地域住民と意見交換をし、住民参加のまちづくりを進めた。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	官民連携による取組	駅利用者、地区内住民等に対しアンケートを実施した。また、地域会議・自治会長会等へ参加し、地域とコミュニケーションを深めながら事業を進めた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						○ 継続して住民の意見を把握し、住民参加のまちづくりを進めていく方針。		
	持続的なまちづくり体制の構築	市の組織機構を変更し、「南古谷駅周辺整備担当」を新設した。また、地域会議等への参加やまちづくり通信を発行した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						○ 今後も、市の組織の強化を図りつつ計画の周知に努め、住民と行政のコミュニケーションを深めていく方針。		

